

サツマイモ品種の販売動向と新品種開発戦略

カネコ種苗(株)波志江研究所

榎本 真

現在、日本国内のサツマイモは、用途別に異なる品種が地域ごとに栽培されている。九州の鹿児島県、宮崎県では焼酎原料用やでん粉用を中心として「コガネセンガン」や「シロユタカ」、「シロサツマ」が、一部青果用として高系や「べにはるか」が栽培されている。関東の茨城県、千葉県では青果用を中心として「ベニアズマ」や「べにはるか」が栽培され、茨城県では干いも用として「タマユタカ」なども栽培されている。四国の徳島県、香川県では青果用として「高系14号」の派生系統が栽培されている。

従来は青果用品種については外観や収量性などの面からウイルスフリー苗の利用が多く、加工用品種についてはウイルスフ

リー苗の利用は低い傾向であった。しかし、近年は加工用品種についても収量性や形状の安定性などが評価され、ウイルスフリー苗の需要が増えている傾向がみられる。

国内の苗の流通事情では、ウイルスフリー苗が普及する以前は、主に産地の生産者が種イモを生産して採苗して栽培していた。また、その生産者は採苗した苗を地元などの小売店を通して産地外にも切苗を供給していた。現在、ウイルスフリー苗は、全農や種苗メーカーが産地に供給し、産地の生産者が栽培に利用している。また小売用のウイルスフリーの切苗についても種苗メーカーが生産し、小売店やホームセンターなどに供給するようになった。

このように変化した苗の流通と利用の中

<苗の販売形態>



ポット苗

主に青果栽培の産地で切苗生産の元株として利用



切苗

家庭菜園などを中心に利用される苗。
産地以外でも流通

で、産地の生産者は、種苗メーカーや県の研究機関、JAなどが独自に選抜した系統のラインナップから、畑に適した苗を選んで利用している。

ウイルスフリー苗の販売

カネコ種苗(株)は、ウイルスフリー苗の販売を開始して既に20年以上になる。当時、産地では「サツマイモ斑紋モザイクウイルス」による「イモの外観品質の低下」が問題であったが、ウイルスフリー苗の普及によりサツマイモの品質は格段に向上した。当社では、販売苗について、ウイルスフリーとしての価値以外に「選抜により優れた形質をもった苗」ということが重要だと考えており、従って、一つの品種の中から安定して優れた形質を示すものを選抜し、圃場試験において特性調査をくりかえし、「優良系統」としてラインナップを作出している。様々な土壌条件や気象条件を考慮して、各産地において毎年栽培試験をおこなってデータの蓄積をしている。選抜された「優良系統」は、更に異なる地域での適応性を確認するため、生産者による試作とそのモニタリングを行ったのち販売系統になる。

このようなウイルスフリー化とその試験は、既に販売・流通されている品種だけでなく、国により育成された新しい品種についても許諾を受けたのち、同様の試験を行い、生産・販売している。近年では、「べにはるか」が急速に関東や九州など広い産地で普及し始めたため、これに対応し、販売している。

オリジナル品種の開発

一方、当社ではサツマイモの交雑育種によるオリジナル品種の開発も進めている。このような育種を始めた背景は、1. ウィルスフリー化技術と生産技術があること。2. 産地に苗を供給できる販売網があること。3. 当社の苗が既に多くの産地で認知され、利用されていること。4. 種苗会社としての育種開発に関わるノウハウが備わっていること。5. 販売戦略上、独自品種をもつことに意義があること。などが挙げられる。

交雑品種の育成に際しては、既存品種に比べてきわだつ食味・形状等を持ち、更に、市場性・収量性のある青果用品種として流通できる品種の育成を目標として開発を進

＜バラエティ豊かな実生株からの選抜＞



実生株由来のイモ



選抜系統の試験株

＜バラエティ豊かな実生株からの選抜＞



シルクスweetの株



洗浄後のイモ

めている。

サツマイモは遺伝的に非常に雑ばくであるため、交配して得られた種子からは個体ごとに様々な形質のものが現れる。そのような中から選抜を繰り返し、外観・収量性・食味などトータル的に品質に優れたものを選抜していく。

品種育成の流れは、1年目に育苗・接ぎ木で開花を促した親株をもとに開花・交雑、採種を行う。2年目に実生株の圃場試験を行い株選抜を開始する。3年目には圃場での反復試験を行う。4年目以降は産地圃場での栽培試験と特性調査を行い、数年にわたって形質の安定性を確認し、有望品種については更に追加の栽培試験を行う。当社はこれらの産地での栽培試験はウイルスフリー苗で行っている。

このような交雑育種による品種育成を進めた成果として、カネコ種苗のオリジナル品種「シルクスweet®」を開発した。食味が良好で皮色の濃い「春こがね」を♀、形状の揃いが良好で収量性に優れる「べにまさり」を♂として交雑し、多数の実生個

体から選抜した。

シルクスweetの特性を示す。

- ・形状：やや短めの紡錘形。
- ・食味：肉質はやや粘質で、しっとりとしていて甘い。
- ・肉色：加熱調理すると黄色く、見た目が鮮やか。
- ・皮色と外観：皮色は濃赤紫で、条溝の発生は少なく、毛穴は浅く外観に優れる。
- ・貯蔵性と萌芽：貯蔵性に優れ、萌芽はやや遅い。

シルクスweetは、その食感が「絹のようになめらかで、甘い」という特徴から「シルクスweet」と名づけられた。

食味の良さや外観の良さで、市場関係者や一般消費者から評価されている。現在では、茨城県を中心に千葉県、埼玉県や熊本県の一部などで栽培されている。

また当社が開催する展示会や、その他の様々な催しや市場での試食会を通して、多くの方々に試食していただいている。試食会でいただくご意見では、「肉色の黄色が



シルクスイートの甘納豆とスイートポテト



シルクスイートの焼酎

鮮やか」、「冷めた焼きものの食味がそのままお菓子のようだ」という声などをいただいている。

また、「シルクスイート」は加工品とし

て洋菓子（スイートポテト）や甘納豆、いも焼酎にも利用され、好評をいただいている。

□いも類振興会の出版物案内□

◎サツマイモ

サツマイモ事典

（財）いも類振興会 編集・発行

サツマイモの近代現代史

狩谷 昭男 著

◎ジャガイモ

ジャガイモ事典

（財）いも類振興会 編集・発行

アンデスから食卓まで

田中 智 著

清薯源流の砦

（財）いも類振興会 編

21世紀にむけてのいも作り

吉田 稔 著

パレイショ増収1000問答

吉田 稔 著

申込み先 〒107-0025

この一冊があれば、サツマイモのすべてがわかる事典。サツマイモの起源・伝播、作物特性、品種、栽培、普及、流通・加工、食べ方、文化までを網羅した事典。 2010年1月 B5判 352頁 4,800円＋税8%
明治から平成に至る約150年間のサツマイモを巡る政策、生産、流通、消費の動向等を解説。
2012年10月 A5判 138頁 1,300円（税込・送料別）

この一冊があれば、ジャガイモのすべてがわかる事典。ジャガイモの起源・伝播、作物特性、品種、栽培、普及、流通・加工、食べ方、文化までを網羅した事典。 2012年3月 B5判 416頁 4,800円＋税8%
ジャガイモの起源、種類、料理法等について解説。

1992年改訂 B5判 21頁 580円

八岳、孺恋、上北、雲仙、北海道中央、後志、胆振、十勝の各馬鈴薯原原種農場を紹介。 1987年11月 B6判 112頁 700円

ジャガイモ栽培をめぐる問題点を指摘し、その改善策を提起。

1988年10月 B6判 166頁 600円

講演での質問を基に、作付から収穫までの事項別に答えたもの。

1988年4月 B6判 150頁 700円

東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303

一般財団法人 いも類振興会 E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp

TEL: 03-3588-1040 FAX: 03-3588-1225 郵便振替: 00130-1-110152